

8. 中国（地域別調査機関：公益社団法人中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連		-	-
(中国)		商店街（代表者）	・新規開店予定の店舗があるので現状より通行量が増える。 売却、改築、撤去など空き店舗の活用方法次第で今後の様子が変わってくる。
		一般小売店〔紙類〕（経営者）	・客の購入点数が増えており、この状況が続く。
		スーパー（販売担当）	・クリスマス、迎春等、何か消費者の消費意欲を刺激するものがあれば売上が伸びる。消費意欲を持っている客は確実に増えているため景気は上向き。
		コンビニ（エリア担当）	・今后来客数が増加する傾向が続く。
		家電量販店（店長）	・来客数が増加する。
		乗用車販売店（統括）	・今期は新型車効果による販売台数の増加が見込まれる。
		住関連専門店（営業担当）	・リニューアルオープンする1月の来客数に期待が持てる。
		一般レストラン（店長）	・来年春前後のインパウンド予約が早々に入ってきており、前年以上の予約が入る。
		観光型ホテル（営業担当）	・暖かい観光シーズンになるので来客数が増加する。
		都市型ホテル（スタッフ）	・歓送迎会シーズンに入るとともに団塊世代の退職もピークになるので客の利用が増加する。
		都市型ホテル（企画担当）	・海外情勢や市場が安定しているため、このまま突発的な自然災害がなければ春先に人の動きは良くなり、消費が活性化する。
		タクシー運転手	・ハイヤータイプのタクシーの運用が始まる。
		通信会社（工事担当）	・客の様子から景気は良くなる。
		通信会社（総務担当）	・例年年度替わりには新規加入が多く見込める。
		競艇場（職員）	・2月末から全国発売の競争を実施するので売上が増加する。
		住宅販売会社（営業所長）	・3月入居に向けて分譲住宅の販売が好調になるのに合わせて物件の準備ができています。
		住宅販売会社（営業担当）	・年度末の販売量は増える傾向である。
		商店街（代表者）	・地方では収入が増加せず、生鮮食品の値上げや円安の影響でガソリンや灯油が高くなっているため、客は買回り品にまで金が回らない。
		商店街（理事）	・新年を迎える季節的要因で客の購買意欲は盛り上がるが、客の生活防衛は続き、景気が良くなる材料は見当たらない。
		商店街（代表者）	・今後の国際情勢、特に米国の次期大統領の動向にもよるが、2～3か月先の景気動向は低調に推移する。
		一般小売店〔食品〕（経営者）	・年末商材の動きが例年に比べて悪い。
		百貨店（経理担当）	・前年並みに売上が回復した婦人服が今後も現状を維持できるか不明であるが、新年を迎えての初売りで新しい客を取り込む。
		百貨店（営業担当）	・今月の状況からして2～3月に景気が良くなる要素はない。特に地方は都市部と比較しても景気回復の材料がない。
		百貨店（営業担当）	・コートなどの高額商品の売上は伸びているが、月半ばからのプレセール商品が苦戦している。
		百貨店（販売促進担当）	・正月商戦、冬セールと大型商戦がスタートしてくるが、取引先の生産調整による商材不足や暖冬継続の気配もあって消費回復にはつながらない状況である。
		百貨店（購買担当）	・クリアランスセールに来る客の衣料品の買い方は非常に慎重である。食料品に関しては、良い物を少量楽しむ客が増えており、景気は現状が続く。
		百貨店（売場担当）	・化粧品など肌に直接つけるものや食品などには金を使うが、衣料品や雑貨などなくても困らないものは購入しない客の傾向がしばらく続く。消費の両極化は継続する。
		百貨店（営業推進担当）	・景気が良くなる具体的な要素はなく、ここ数か月、同じような動向で推移しており、現状が続く。
		百貨店（人事担当）	・地元大手自動車メーカーの稼働率が向上してきているが、地域全体の景気が上向いているとは言えない。
		百貨店（売場担当）	・セール期にのみ客が動く状況が続いており、来年度もさらに価格志向が続く。
		スーパー（店長）	・景気を判断する材料がない。
		スーパー（店長）	・天候と気温の変化で販売量は大きく左右される。
		スーパー（店長）	・販売促進の変更で現状数値が良くないものの、来客数と単価で前年をクリアしているため、全体的には持ち直す。

スーパー（店長）	・年末なので一時的に単価が上昇しているだけで、大きな変動はない。
スーパー（総務担当）	・前年並みの動きであるが、やや上向き感があり、このままの状態が推移する。
スーパー（営業システム担当）	・売上は前年割れしない程度であるが、伸びる要因は見つからない。
スーパー（管理担当）	・客の節約傾向が続いており現状が続く。景気が良くなる展開も今のところ見えてこない。
スーパー（業務開発担当）	・客の節約志向の定着で食品スーパーは厳しい状況である。競合店との競争が一層強まる。
コンビニ（エリア担当）	・前年の売上が一昨年より相当良かったので、1～3月の売上が前年を上回るかどうか分からない。ただ天候の回復と本部の政策次第では売上が伸びる。
コンビニ（エリア担当）	・販売量に大きな変化はなく、客の節約志向は高まる。
コンビニ（副地域ブロック長）	・当市の景気がスポーツイベントに大きく左右されるので、3月ごろまで来客数の増加には期待できないが、その間訪日観光客の増加には期待できる。
コンビニ（支店長）	・景気が上昇傾向であるため、景気はこのままの状況を維持する。
衣料品専門店（経営者）	・景気の良くなる要素がない。
家電量販店（店長）	・年末も押し迫っている状況で、まだ検討すると言って買わない客が多い。客の財布のひもは予想以上に固い。
家電量販店（販売担当）	・初売りに期待が持てる。
乗用車販売店（総務担当）	・来客数、販売数共に好調に推移しており、数か月先も今月の状況を維持できる。年度末決算時期ではあるものの、納期の関係で景気が良くなるほど状況を変えられそうにはない。
乗用車販売店（営業担当）	・客の仕事や家計状況から、景気が上向き状況ではない。
その他専門店 [時計]（経営者）	・年末に販売量が少し上向いたが、また元に戻る。
その他専門店 [和菓子]（経営者）	・売上が増加する要素も減少する要素も見当たらない。
その他小売 [ショッピングセンター]（管理担当）	・株価高騰など景気の上昇感はあるものの、一般家庭での財布事情は大きく変わらない。
高級レストラン（宴会サービス担当）	・予約状況は前年並みである。
一般レストラン（経営者）	・中小零細企業の景況が悪く、まだまだ地震への不安もあり、客に積極的な消費意欲は生れていない。
一般レストラン（外食事業担当）	・大手ナショナルチェーン店との間でヤング客層やヤングファミリー客層の取り合いが続く。
スナック（経営者）	・何の景気対策もとられないため、3か月先が良くなることはない。
観光型ホテル（宿泊担当）	・同業界の関係者との間ではベースアップや賞与がないとの話題が上っている。
都市型ホテル（企画担当）	・宿泊、宴会、レストランとも予約状況に大きな変化はなく、この状態が続く。
旅行代理店（経営者）	・日本がどう動くかが今後の課題であり、業界内部にも不安感が漂っている。
旅行代理店（営業担当）	・春以降の先行き受注状況が悪く、現状では大きな改善はない。
タクシー運転手	・鳥取県中部地震や漁船事故の影響で景気はそれほど良くなるらない。
タクシー運転手	・身のまわりの企業に明るい話題はなく、現状維持の状態が続く。
通信会社（企画担当）	・年度末に向けて新サービスの材料はやや乏しいが、今年度展開してきたサービスの定着が図られており、売上が落ち込む要素は見当たらない。
通信会社（営業担当）	・景気の変動要素がない。
通信会社（総務担当）	・通信業界に変動はないが、ロシア大統領の来日で当県が注目されることによって観光業や製造業、一般小売店には好影響がある。
テーマパーク（管理担当）	・地方の消費傾向が鈍化している。
テーマパーク（営業担当）	・1月は寒くなる予報が出ており、客足は回復しない。
ゴルフ場（営業担当）	・予約数が例年並みであり、国内客が減少し外国人客が増加して例年を維持しているが、実態は減少傾向にある。

	美容室（経営者）	・人手不足などの問題で業績を伸ばすのが難しい状態が続く。	
	美容室（経営者）	・2～3か月の短いスパンでは売上の増減を判断できない。	
	設計事務所（経営者）	・少子高齢化、人口減少などが影響し、地方では先を見越すことができない。	
	設計事務所（経営者）	・景気の先行き不安と建築物価が高止まりの状況が続いているので、建築主はしばらく新築を見合わせる。	
	住宅販売会社（従業員）	・来年度の税制改革に客の購買意欲を刺激する政策はなく、大きな変化は期待できない。	
	商店街（代表者）	・客の物離れが進み、特に若い人は形のないものに金を使う傾向が強くなる。	
	一般小売店〔茶〕（経営者）	・先行き不安で客の財布のひもがますます固くなる。	
	一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	・中小企業が大半を占める地方では賃金が増える実感がなく、更に納税時期になるので景気は悪化する。	
	一般小売店〔印章〕（経営者）	・年賀状の注文枚数が減少し、企業の経費削減が続く。	
	百貨店（営業担当）	・政治情勢の不安定さから景気はやや悪くなる。	
	スーパー（店長）	・地元企業の業績が悪く、可処分所得も増える見込みがない。客は支出を抑える気持ちが強く、消費は上向かない。	
	スーパー（店長）	・客の財布のひもが固く、年末年始が終われば更に節約志向になるとともに食費の節約が一層強まる。	
	スーパー（財務担当）	・競合店出店の予定があり、競争が激化するなかで、消費者の節約志向は今後も続き、来客数と買上点数は減少する。	
	スーパー（販売担当）	・暖冬で冬物の動きが悪く例年よりも10日早くセールに入るため、景気が良くなる要素がない。	
	衣料品専門店（店長）	・月後半は単価の低い客が増え、年明けは更に増加する。	
	家電量販店（店長）	・厳しい状況が続き、いかにして生き残るかの正念場となる。	
	家電量販店（企画担当）	・景気が良くなる要素がない。	
	その他専門店〔布地〕（経営者）	・国がいくら街の活性化に向けて地方行政に発破を掛けても、やってもやらなくても給料が変わらない公務員はリスクを取らない。	
	その他専門店〔海産物〕（経営者）	・客の購買意欲が向上することはなく、イカが獲れなくなって漁獲も安定しない。	
	その他小売〔ショッピングセンター〕（所長）	・テナントの閉店でファミリー客が減少する。次に入るテナント次第で今後の集客が左右される。	
	一般レストラン（経営者）	・今月はボーナス時期で景気が良いが、今後は少し悪くなる。	
	その他飲食〔サービスエリア内レストラン〕（店長）	・閑散期に入るので交通量と来客数が減少する。	
	都市型ホテル（総支配人）	・先行き予約は個人観光客を中心に伸び悩んでおり、間際の予約取り込みが急務である。また一部では鳥取県中部地震の影響も懸念される。	
	通信会社（広報担当）	・客は質の良い物、新しい機能、便利な物を求めているわけではなく、価格が安ければそれで良いとしている。	
	テーマパーク（業務担当）	・年度末の慌ただしい時期に入り、春のイベントまでの閑散時期になる。	
	設計事務所（経営者）	・今年度の補助事業が終わり工事費も上昇気味であるため、年度末に向けて動きは鈍くなる。	
	設計事務所（経営者）	・来場率の改善はあまり期待できない。	
	住宅販売会社（営業担当）	・客は引き続き消費税率引上げの動向を静観するため、動きが悪くなる。	
	×	商店街（代表者）	・オーバーストア、デフレ、少子化、インターネット販売に押され、近隣の大店舗でも子ども服売場を広げるなどしたため、当店の売上は非常に悪く、今後も期待できない。
	×	乗用車販売店（店長）	・新型車で現在の販売量を維持しているが、1～2か月後には新型車効果は薄れ、販売量は減少する。
	×	自動車備品販売店（経営者）	・メーカーが契約小売店を飛び越え、直接契約を結ぶことが増えたため地方の小売店はどんどん良い販売先を奪われている。相手が契約先メーカーのため訴えることもできず、この横暴が続く限り将来が良くなることはない。増えるのは直営店ばかりで地方の企業は減少するばかりである。
	×	美容室（経営者）	・安売り店が次々と開店するので、売上の上昇は見込めず、厳しい状況が続く。
企業動向		輸送用機械器具製造業（経営者）	・新車が立ち上がるので忙しくなる。

関連		不動産業（総務担当）	・1月からは賃貸物件の需要時期になるため客の動きは良くなる。
(中国)		非鉄金属製造業（業務担当）	・相場は高値推移が予想され、液晶関係材料は数量が減少しても面積の増加によって高い生産水準が継続する。先月踊り場になった自動車はやや持ち直す。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・新入学シーズンに当たり、新入学関連商品の受注数が戻る。
		建設業（総務担当）	・受注状況が当面は現状維持か若干の上向きになる。
		通信業（営業企画担当）	・取引先の製造業では年末年始に工場稼働を実施する企業が多く見られる。
		金融業（融資企画担当）	・円安進展により輸出採算が好転している完成車メーカーの海外販売が堅調なことから、自動車部品メーカーの受注は今後も好調が続く。
		金融業（貸付担当）	・地方で土地価格が下げ止まっており、春先にかけてベースアップなど賃金上昇も見込まれる。金利が上昇しており、設備投資を前倒しで検討している企業もあるため、身のまわりで景気に上向きが実感できる好循環となれば、個人消費も上向き3か月先の景気はやや良くなる。
		農林水産業（従業者）	・11月末にイカ釣り漁を除く魚種の水揚げ数量が前年より20%増加した。アジ、サバ、イワシの青魚の水揚げ数量が前年の5倍に増えている。
		木材木製品製造業（経理担当）	・住宅ローンの低金利や円安によって、輸出関連企業は売上増加が見込まれるが、当社のような輸入企業にとってはコスト高になり、結果として利益面では横ばいとなる。今後の為替動向が景気の行方を左右する。
		化学工業（総務担当）	・東京オリンピックに向けた内需拡大の影響は今のところない。
		窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	・大口案件は当面見込めず、現在の生産水準が継続する。
		鉄鋼業（総務担当）	・大きな変化はなく、現状の活動水準が継続する。
		鉄鋼業（総務担当）	・3月までは現状の受注量が続く。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・地方には景気浮揚の実感がない。将来を勘案して設備投資に踏み切りたいが、なかなか実行に移せない。業界では明るい兆しよりも後ろ向きの話が多い。
		輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	・受注は内示に比べ実績が減少傾向となる。
		建設業（総務担当）	・技術職の稼働率は目一杯の状況で、予定物件の受注は順調に推移しており、この先1年は目途が立っている。
		輸送業（経理担当）	・受注状況に変動はなく、今の低調な荷動きがしばらく継続する。
		輸送業（支店長）	・単価の高い個人荷物の動向が停滞気味で先行きは不透明である。同業他社の不手際で荷物の流れ込みはあるが楽観視できない。
		通信業（営業担当）	・次月の売上見込みは伸び悩み、年度末に向けた見込みも低い。ユーザの既設設備更改も経年更改がほとんどで新規需要が伸び悩んでいる。
		会計事務所（職員）	・製造業では来年度以降の見通しが不透明である。米国の次期大統領がどういった施政方針を打ち出すかにかかっている。円安になれば製造業にも活気が出て景気はやや良くなるが、先行きは全く分からない。
		食料品製造業（総務担当）	・年末が過ぎれば売上はそれほど伸びない。
		化学工業（経営者）	・近時の円安基調により主要取引先の輸出増加に期待するものの、足元は景気回復しているとは言い難く、引き続き生産量の調整を余儀なくされる。
		金属製品製造業（総務担当）	・2～3か月先の受注見通しは現状とほぼ変わらないが、鉄原材料価格は1月より値上がりすることが決まっている。数か月後には再値上げとの情報もあり、採算面での悪化が懸念される。
		輸送用機械器具製造業（財務担当）	・円安基調や一部運賃の改善等により、わずかな好材料は出てきたものの、具体的な商談や案件は表面化しておらず、引き続き景況感の悪化は継続する。
		その他製造業[スポーツ用品]（総務担当）	・大幅な国内景気の回復は見込めず、コスト高もあり苦しい経営状況が続く。
		輸送業（総務担当）	・米国新政権の政策に対する模様眺めの後、悪評が立つと景気が暗転する恐れがある。
		広告代理店（営業担当）	・客からの情報で年末年始の販売促進拡大を終えると現状より受注量が減少する見通しである。
		×	一般機械器具製造業（総務担当）
雇用		-	-

関連 (中国)	人材派遣会社（支社長）	・12月は年間で派遣契約の終了が多い月であるが、例年と比べて契約終了数が大きく減少し、継続した就業ができてい る。
	人材派遣会社（支店 長）	・年度末までに採用者数が増える見込みであり、このまま企 業とのマッチングが増えれば働く人も増え景気も上向く。
	新聞社〔求人広告〕 （担当者）	・業種によって求人倍率に差異が生じているものの、慢性的 な人手不足状態で企業の採用意欲はまだまだ続く。大手自動 車メーカーの燃費不正問題発生後、停滞していた地元企業が 他の大手自動車メーカー傘下となり、操業も順調になりつつ ある。
	学校〔大学〕（就職担 当）	・オリンピックを見据え東京からの経済波及効果が及ぶ。
	人材派遣会社（社員）	・大きな変動要因もないため、雇用状況は前年同時期と同様 に推移する。
	人材派遣会社（経営企 画担当）	・刻々と変わる求人マーケットの把握が急務である。求職者 へのきめ細やかなフォローと、鮮度の高い企業情報を収集す ることが人材会社としての使命である。
	求人情報誌製作会社 （広告担当）	・新卒内定状況は採用充足率が約9割で、前年の8.5割より 高い割合となっている。マスコミ、サービス、インフラ、建 設、商社、小売は前年より採用充足率が上昇し、ソフトウェ ア、通信では大きく低下している。上昇した業種は採用増加 の目標が低かったこと、低下した業種は採用増加の目標数 が高かったことによる。18年卒業生の採用人数は、多くの企業 が17年卒業生の採用人数と変わらないか増やす傾向にある。
	職業安定所（所長）	・医療福祉など慢性的に人手不足の業種はあるが、10月に発 生した鳥取県中部地震による施設等の復旧状況や今後の風評 被害の影響が懸念されており、求人数は横ばいで推移する。
	職業安定所（産業雇用 情報担当）	・企業倒産の話はなく、有効求人倍率は8か月連続で上昇し ており、景気が落ち着いているので現状と変わらない。
	職業安定所（雇用開発 担当）	・求人は引き続き多く出ると見込まれるが、現在より景気が 良くなり増員のための求人というよりも、人手不足の欠員補 充のためのものが多数である。
	職業安定所（産業雇用 情報担当）	・これから年末年始で人の動きがみられる時期となるが、景 気の様子を注視する必要がある。
	民間職業紹介機関（職 員）	・米国次期大統領の発言が海外展開するメーカーに大きな打 撃を与え兼ねず、予断を許さない状況が続く。
	民間職業紹介機関（人 材紹介担当）	・扶養控除等の見直しによる変化はあるが、どれも雇用を後 押しするものではない。
		-
x	-	-